

日曜日は白川中の体育大会でした。大江の先輩たちが力いっぱい競技・演技し、感動をもらいました。涼しくてよかったです。さて今週は暑くなります。日曜日は最高気温 31 度と予報に出ていてびっくり！水分補給タイムを適宜取りながら進行していきます。大人も気を付けてくださいね。



# 大江の風



5月20日  
No. 13





## 令和元年大江小『道徳教育重点目標』決定

お忙しい中「子どもに身につけてほしいことアンケート」に回答くださり、ありがとうございます。これから子どもたちを取り巻く環境の変化により学校が抱える課題も複雑化・困難化する中で、これまでどおり学校の工夫だけにその実現を委ねることは困難になってきています。「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」ということを、学校と家庭と地域が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を、大江の子どもたちに育てていく必要があります。その第1歩としてアンケートを取らせていただきました。

結果は右表のようになりました。保護者の方の思い第1位は、「より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけず努力して物事をやりぬくこと」でした。私の思い

	保護者の思い	教師の思い
1位	A 希望と勇気・努力と強い意志	B 親切・思いやり
2位	A 正直・誠実	C 規則の尊重
3位	B 相互理解・寛容	A 希望と勇気・努力と強い意志
4位	B 親切・思いやり	A 善悪の判断・自律・自由

と同じです。（嬉しい！）今の子どもたちやこれから誕生する子どもたちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されます。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっていると言われていています。子どもたちが、発達段階に応じてこの生きる力をつけていけば、必ず自ら人生を切り拓き、自分の手で幸せをつかむことできると信じています。項目のABCDは、文科省が分けた4つの分類です。それを大江小学校では「4つの心」として子どもたちに分かりやすく示しています。Aは「自分を伸ばす（りんごの心）」Bは「人と仲よく（さやえんどうの心）」Cは「みんなのために（いなほの心）」Dは「命を感じる（おおえのきの心）」とし、アイコンを作り子どもたちに、特活や道徳、日常生活で「大切な心」について、いつも考えられるようにしています。この取組がもうずっと続いています。この大江のよさを本年度も引き継いでいきます。

	より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけず努力して物事をやりぬく子どもを育てる。 【A 希望と勇気・努力と強い意志】
	誰に対しても思いやりの心を持ち、親切にする子どもを育てる。 【B 親切・思いやり】
	約束やきまりの意義を理解した上でそれを守り、自他の権利を大切にし義務を果たす子どもを育てる。 【C 規則の尊重】
	生命の尊さを知り、自他の生命を大切にする子どもを育てる。 【D 生命尊重】

さて、本年度の道徳教育の重点目標は、学校教育目標「生きる力＝どうにかする力」を踏まえ、保護者の思い、職員の思いから、左表の4つに決めました。道徳教育は、すべての学校教育活動全体を通して行うものであり、その要となるのが教科道徳です。子どもの発達段階に応じて、適切な指導を行っていきたいと思います。

本校の研究の軸である特活でももちろん、この4つの心を意識して行っていきます。例えば、運

動会に向けて特活シート「運動会を成功させよう」を全学年で作成しています。一人一人が目当てを立てて、どんな心がどんなふう成長したのか振り返ります。そのあとおうちの人からメッセージをいただくことになっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。子どもさんの成長と一緒に実感し、保護者も4つの心を意識して認め褒め励ましていただければと思います。学校・家庭で連携・協力しながら、子どもさんの豊かな心が育まれるように一緒に工夫していきましょう。